

2019年9月

つづきMYプラザ  
TSUZUKI MULTICULTURAL & YOUTH PLAZA

# プラザニュース



つづきMYプラザ（都筑多文化・青少年交流プラザ）  
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-25-1 ノースポート・モール5階  
TEL：045-914-7171 FAX：045-914-7172  
E-mail：my-plaza@tsuzuki-koryu.org URL：https://tsuzuki-myplaza.net/newhome/

第138号



～東京2020オリンピック・パラリンピック関連 国際交流イベント～

## 日本とイギリス文化の融合 ～素朴な食にこそ豊かさがある～

日本と英国の食材を活かした素朴な料理を大切にする食文化に焦点をあて、様々な国の方々とともに両国の文化の融合を楽しみます。是非ご参加ください。

### プログラム



肉じゃがは英国のビーフシチューが元になっているって本当？ 囲炉裏端にお鍋をかけて「英国の食文化についてのおはなし」を聞きます。



かまどで無農薬自然栽培米を炊きます。「日本の伝統的な食文化についてのおはなし」を聞きます。



おにぎりとお英国の国旗をデザインしたデザートを作って、参加者同士で交流会をします。ウェールズ風ビーフシチューもお楽しみください。



【昨年度の様子】

都筑区にある横浜国際プールは、東京2020大会英国代表水泳チームの事前キャンプ地となります。

日時：10月6日(日) 13時30分～16時  
場所：都筑民家園 詳しくは、チラシ・HPをご覧ください。

## 日本語ボランティア入門講座(3回シリーズ)

都筑区で日本語を学習したい外国人は年々増加していますが、日本語ボランティアが足りません。日本語ボランティア入門講座で基礎知識を学び、地域に住む外国人のお手伝いをしませんか？

10/16 (水) 「日本語ボランティアを始める前に」

講師：林田 育美 (つづきMYプラザ館長)

10/17 (木) 「日本語の教え方①」

講師：梅澤 理香さん (つづき日本語サークル)

10/18 (金) 「日本語の教え方②」

講師：川口 世津子さん (ハンナの会)

●いずれも 10:30～12:30

●場所：つづきMYプラザ

●各日、日本語教室の見学があります

●全3回で 1,000円

※ 詳しくは、チラシ・HPをご覧ください。



【昨年度の日本語教室  
見学の様子】

8月の入館者数：2,412 人 (2007年12月10日～2019年8月31日までの累積総入館者数：322,676人)

# この夏、MYプラザは熱かった!!

## 報告① 東京2020オリンピック・パラリンピック関連イベント

### 「互いを認め合い、尊重し合う事が必要だと気づきました」

8月7日、8日の2日間にわたって『グローバル人材と人間力』を開催しました。3名の講師の方にご登壇いただき、国際大会を契機に残していきたい『ボランティアレガシー』をテーマに、中高生と大人が共に考えました。受講者と講師の対談やグループトークなど、自分の思いを発信する場もあり、熱気と活気あふれる講座となりました。

#### 「ボランティアレガシーを残すためにできること」



NPO法人 スローレーベル  
理事長 栗栖 良依さん



公益財団法人  
横浜国際交流協会  
理事長 岡田 輝彦さん



株式会社 リクルート  
リクルートワークス研究所  
主任研究員 中村 天江さん

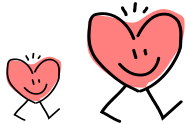
#### 「ボランティア経験を通じて 個人のライフキャリアにレガシーを」

#### ～参加した高校生の声～

- 障害者にとってもしやすい生活というものは今まで周囲が配慮してその人に対している施設やプログラムも含まれているとそんな風に考えていた。しかしながら、障害者の方が感じているしやすい生活は分けられないプログラムではなく、一緒に空間の中でどう協力、共生していくのかという点を気づかされました。また、サーカスな心を通じたコミュニケーションスタイルがより必要であり、参加してみたいと感じられた。
- 自分が想像している以上に日本人が減少し、外国人(訪日)の人が増加していることを知った。それと同時に日本人というものが閉鎖的傾向を持っていることを知り、少し残念にも思った。またオリンピックを交えるのは時代とともに変化していく人々、資源があるということがよく分かった。







# 「ボランティアは優しさが広がっていくもの」

この夏も「はあと de ボランティア」に総勢 269 名（小学 5・6 年生 56 名、中高生 213 名）が参加し、都筑区内の施設でボランティア活動を体験しました。8 月 24 日には、みんなで集まってどんな体験をしたか、体験を通して感じたことを話し合いました。最後には俳句で体験を表現し、修了証を手に、笑顔で締めくくりました。

## ボランティア体験



人のためにやるのがこんなに楽しいんだ！

人と人のつながりを大切にしていきたい。

子どもたちから、受け入れ先へのお礼の手紙（一部抜粋）

☆今年も都筑区内 180 カ所の施設が参加を受け入れてくれました。ご協力ありがとうございました！

最初は緊張していましたが、先生たちは「ボランティアだから」とは言わずにどんどんと僕に仕事をくれました。それがすごく嬉しかったです。

今回のボランティアが私が将来やりたいことに一番近いボランティアでした。その職業に就きたい気持ちがより強くなりました。

昨年から引き続き体験して、前回とは違い少しリラックスして参加することができ、ボランティアを楽しむことができました。みなさんのおかげです。



## 振り返り



修了証を手に、ボランティア体験終了！



作った俳句といっしょに



修了証授与

### ● ● ● この夏の一句 （一部抜粋） ● ● ●

- ♡ ボランティア 笑顔を絶やさず よりそって
- ♡ ボランティア 仲間と協力 達成感
- ♡ まちきれい たちまち心も きれいだな
- ♡ 園児らの 惜しむ涙と 学ぶ夏

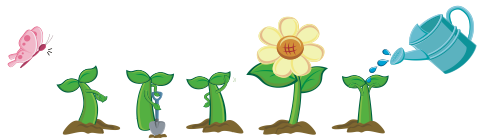
## 「寄り添うことが大切な支援」

8月21日、横浜国立大学大学院生の根本 ミシエリ ケイコさんが「なぜ、頑張らなければいけないのか」というテーマで自らの経験や、支援者に望むこと、今後、支援者としてどうありたいのかを語ってくれました。

後半には、同じく当事者であり、現在高校2年生のオカンポ レイシェルさん、熊田 ダビデさんを迎え、高校受検を乗り越えた経験談、参加者とのディスカッションを行いました。

参加者60名の中には支援者が多く、「先生にしてほしかったことは?」「どんな支援が必要だった?」などの質問があり、「自分を信頼してほしい」「親以外にも相談できる人が必要」「将来の可能性を導いてほしい」など、支えるためのヒントをもらいました。

最後に、「アイデンティティで悩むこともあるけど、私は地球人!」と言っていたのが印象的でした。



### ～参加者の声～

- ・当事者の方にしか語れない、貴重なお話を生で聞いて、とても良かった。
- ・自分も外国人なので、言いたい事がとてもよくわかった。
- ・支援者として、子どもとの信頼関係を築くことの大切さを痛感した。
- ・きちんと向き合ってくれる大人の存在、個別にサポートしてもらえる環境が大事。
- ・外国につながる子どもが進路・就職で悩み、困難があることがよく分かった。

## 絵が好きな子たちの作品展 を開催して…

つづき MY プラザを利用している、絵が好きな中高生に声をかけ、作品を募集したところ、15点の作品が集まりました。中高生の視点で描かれたものは、題材も色々で、表現方法も、油絵・切り絵・水彩画等と様々です。普段、趣味として取り組んでいる作品ですが、多くの方に見てもらいたい機会となりました。



自分の絵が飾られてみてどうだった?

初めて、額縁に自分の絵が入ってみて、何だかすごいな!!と思った。



他の人の作品の手法もすごいと思った。自分も油絵に挑戦してみたい!

額縁に入ったのは、初めての経験です。家でもそのように飾ってみようかな～。



つづき MY プラザ (都筑多文化・青少年交流プラザ)

開館時間 平日: 午前10時～午後9時  
土日祝: 午前10時～午後6時

休館日 第3月曜日(祝日の場合火曜日)、年末年始  
アクセス 市営地下鉄ブルーライン・グリーンライン  
「センター北」駅下車 徒歩3分  
ノースポート・モール5階

### 編集後記

みなさんの夏休みはいかがでしたか。プラザは、盛りだくさんの事業と、ここに繋がる多くの人たちと共に「熱い夏」を駆け抜けました。この夏に生まれた一つ一つの絆が根付いて、地域で育っていくことを願っています。(M.A & M.K)



認定特定非営利活動法人つづき区民交流協会  
<http://www.tsuzuki-koryu.org/>